

廃案へ追い込もう

「共謀罪」反対の国会前行動



「共謀罪は廃案だ！」と怒りの声をあげる人たち＝22日、衆院第2議員会館前

与党が共謀罪法案を衆院本会議で23日にも採決しようとする中で22日、共謀罪NO！実行委員会と総がかり行動実行委員会は、国会前で夜の緊急集会を開きました。

国連特別報告者、ツヨセフ・ケナタッチ氏が共謀罪法案を懸念する書簡を安倍首相に送ったことに菅官房長官が抗議したことについて、主催者が「抗議するとはごっちのせりふだ」と批判。「そつだ」と歓声が上がりました。

日本共産党の宮本徹衆院議員が、演説を聞いた女子高生が「安倍首相がやるべ

きことは森友学園、加計(かけ)学園問題の解明ですよね」と話しかけてきたことを紹介。「世論調査でも77%の人が政府の説明は不十分といっている。廃案めざし頑張ろう」と訴え、民進党、社民党の国会議員もあいさつしました。

共謀罪NO！実行委員会の角田富夫さん(70)が「私たちの粘り強い運動が安倍政権を追い込んでいくことに確信を持つ」と強調しました。

国分寺市から参加した高木裕子(ひろこ)さん(68)は「審議のスピードの速さに驚いています。道理が通らなくても数の力で押し通そうとする安倍政権は異常です」、中野区から参加した松井奈穂さん(62)は「自由にとんでも自分の意見が言えるのが民主主義。強行採決は絶対許しません」と話しました。